

飲んで楽しむ方言モクテル

「栃木方言」のイメージ変容と地域資源としての活用可能性

※モクテル＝ノンアルコールカクテル

宇都宮共和大学シテイライフ学部 3年高丸ゼミ

1

本研究の概要

- 現状調査を実施
 - 宇都宮市における方言土産の現状
 - 現代の若者の栃木方言に対するイメージ
- 栃木方言を地域資源として活用する実践研究
 - オリジナルモクテルの開発
 - 生成AIを活用したネーミング案とレシピ案の作成
 - 地元のバーテンダーとのレシピ共同開発

※モクテル＝ノンアルコールカクテル

3

はじめに

- 「方言」は重要な地域資源の一つ
 - 全国には方言土産や方言グッズが多く存在
- 栃木方言は「自己嫌悪型」方言に分類される
(井上史雄(2011)『経済言語学論考』)
- 近年はお笑いなどの影響でイメージが変化しているのではないか？
- 今こそ、栃木方言を地域資源として活用するときなのではないか？

2

方言土産の現状調査

- 調査日:
 - 2025年8月26日
- 調査場所:
 - JR宇都宮駅
 - 宇都宮テラス
- 調査結果:



パッケージに方言が書かれた商品は2つのみ



方言が地域資源として積極的に使用されていない

4

方言イメージの現状調査

- ・実施期間: 2025年6～7月
- ・調査対象: 宇都宮共和国大学の学生68人
- ・実施方法: Googleフォームによるアンケート

・質問内容

- 回答者属性
 - ・ 年齢、性別、居住歴、同居している家族の出身地
- 栃木方言語彙の理解度、使用度
- 好きな栃木方言
- 栃木方言と標準語に対するイメージ
 - ・ 形容詞対を用いたSD法(13項目、5段階評価)

5

カクテルの街
宇都宮

栃木方言の
積極的な活用

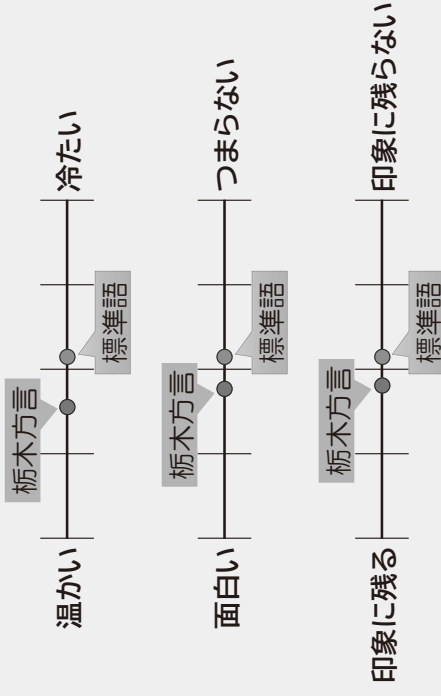


方言を飲んで楽しむオリジナルモクテル開発

- ▽ 気軽に楽しんでもらうためにノンアルコールにする。
- ▽ ネーミングに栃木方言を入れる。
- ▽ ネーミング案とレシピ案に生成AIを活用する。
- ▽ 市内のバーのバーテンダーとレシピを共同開発する。

7

栃木方言は良い印象を持たれている



6

Gemini

いじやちやったレモン DAIJI
おぼんでず らいさまスカッシュ
こでらんねえ〜いちご いいあんべえ
あっかき上手 でれすけタイム
いやどろもソーダ ゴじやっペパンチ

8

Bar Khan(バー・カーン)



9

モクテルレシピ試作の様子



10

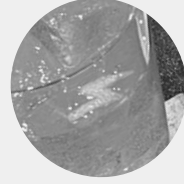
試作したモクテルの一部



11

らいせまスカッシュ

- レシピ
 - 柚子ジュース(40ml)
 - シュガーシロップ(10ml)
 - ジンジャーピエ(100ml)
 - レモンスライス(1片)
 - 氷



12

ごじゃっペアミルク gojappe + pear + milk

• レシピ

- 梨ジュース(40ml)
- ガシスシロップ(10ml)
- ミルク(100ml)
- 氷



13



15

12月2日 方言モグテル試飲会開催



14

栃木を方言あふれる地域にするために！

- 栃木方言の温かさ、面白さを広める！
 - 方言土産、方言グッズを増やしてアピールする！
 - とちまるくんとミヤリーには方言で話してもらおう！
- 企業での活用
 - キャッチコピーや商品説明に方言を積極的に取り入れる！
- ウェブサイトでの活用
 - 栃木弁を理解し、栃木弁で応答することができる
問い合わせチャットボットを開発する！
- 県や市の施策事業としての展開
 - 県産品への方言の活用を推進・推奨する！

16